



黒岩探訪

たんぼう

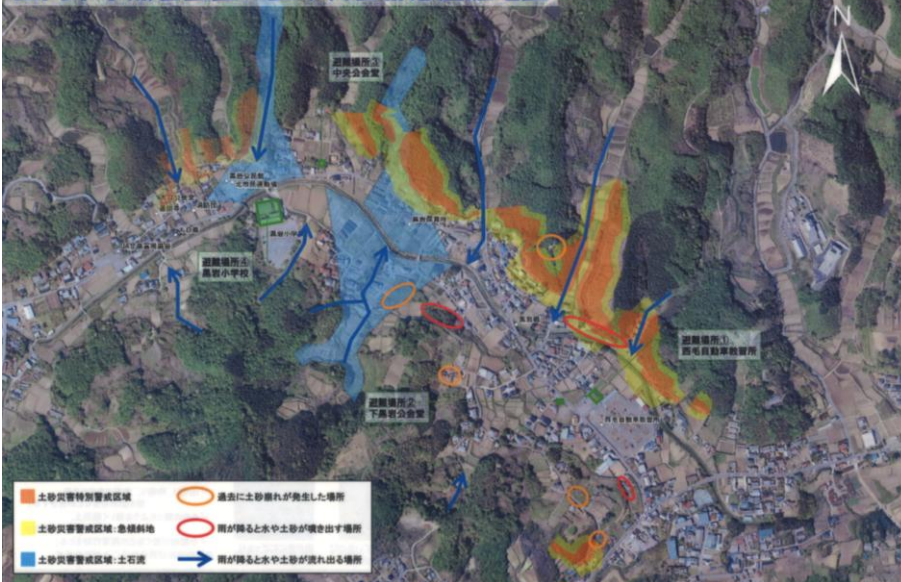
33

KUROIWA
くろいわ

昭和10年の大水災

7月の西日本豪雨災害は、過去の
水害に比較して大きなものとなって
しまいました。被災された方々に対
して心からお見舞い申し上げます。
天災は、いつやってくるかわかり
ません。黒岩地区は山や斜面が多く、
また地盤にベントナイト層があるの
で豪雨の時には注意が必要である
という話を聞いたことがあります。
学校に「下黒岩西区土砂災害緊急
避難地図」(下図)があります。これ
は、富岡市のハザードマップが基に
なっているようです。黒岩小学校も
含まれますので、過去の災害を知り、
現在の防災対策に生かすためによく
理解しておきたいと思っています。
また、本校に勤務するようになっ
て、昭和10年9月の台風による大水
災を知りました。この時の被害で、
黒岩村内で合計八名が亡くなったと
いうことです。その他、村内の田畑
の流失埋没五十町歩、山林原野の崩
壊四百箇所、交通は全て途絶える
状況であったとのこと。今から83

富岡市下黒岩西区 土砂災害緊急避難地図



年前のことですが、この災害は伝承
されていくのでしょうか。記録がなけ
れば、百年、二百年の経過とともに
忘れられてしまうことでしょうか。
最近、この災害で亡くなられた関
係者の方から話を聞く機会がありま
した。後世に生きる私たちが、次の
世代に過去の災害を伝えていくこと
は大きなことと感じました。
国土交通省関東地方整備局のウエ

ブページでも、災害事例としてこの
日の群馬県の被害が載っていました。
調べてみると、富岡市では9月25日
の一日の降水量が300mm、降り始
めからの降水量が460mmでした。
現在の群馬県(前橋市)の年間降水量
は1248mmです。一年間の三分
分の一にあたります。まさしく想定
外の出来事であったことと思います。
今回の西日本豪雨災害では、「数十
年に一度の大雨に警戒してください
。」という表現も聞きました。近年
の気象の変化で「ゲリラ豪雨」とい
う事態もよく聞くようになりました。
数十年に一度、百年に一度の豪雨と
なればこの昭和10年のような事態
もあり得るかもしれません。そう思
えば、学校の避難訓練や地域の防災
訓練は非常に大事な機会になります。
児童にも過去の歴史から学べるよう
に伝えていきたいと思っています。
ちなみに、学校には雨量計があり、
降雨後計量しています。最近では7
月9日夜、10日未明にかけて84mm
を計測しました。通常ものすごい雷
雨でも二時間で20、30mmぐらいで
すのでこの日は相当量の降雨となり
ましたが、校庭や道路に被害が確認
されるほどではありませんでした。
学校では、登校前であれば登校を
控える緊急連絡をする。下校時の集
中豪雨では下校を控えたり、災害発
生の時には児童を引き渡したりするな
どの対応をしています。